

令和5年度の主な取組について

基本方針Ⅰ 男女共同参画意識の定着

施策の方向Ⅰ-1 男女共同参画を促す継続的な情報発信と学びの機会の提供

主な施策 ②全世代に向け、幅広く学習機会の提供に取り組みます

女性活躍推進のための輝き女性塾

中央公民館女性センター

『「自分も大事！ みんなも大事！」～個性を認め合い、多様性社会を実現しよう～』

第1講 10月23日(月)

「仕事は一つじゃなくていい」～あなたのハッピーと誰かのハッピーを一緒に作り上げる新しい働き方ナリワイ～
井東 敬子 氏(鶴岡ナリワイプロジェクト代表)

第2講 10月30日(月)

「自分の人生のハンドルは自分で握る。幸運の女神の前髪をつかもう！」
伊藤 麻衣子 氏(work life shift代表)

第3講 11月13日(月)

「自分らしく生きるために」
渋谷 真子 氏(YouTuber)

主な施策 ③一人ひとりの違いを認め、参加を促す社会の実現

LGBTQ理解の促進

職員課



オンラインセミナーを活用した職員研修の実施

10月19日に山形県主催の多様性セミナーを、市職員42名が職員研修として受講しました。

講師の実体験に基づいた講義により、「多様性の尊重される社会づくり」には何が必要かなど、理解を深めることができました。

基本方針Ⅱ 一人ひとりが希望する働き方の実現

施策の方向Ⅱ-2 雇用機会の充実と待遇格差の縮減

主な施策 ②様々な産業で、意欲的に事業に挑戦する人を応援します

経営力のある新規創業者の育成

商工課

創業支援ネットワークと新規創業促進助成金

公益財団法人庄内地域産業振興センターを中心として、市内商工団体と金融機関が連携し、創業を支援する講座や創業相談事業などを実施しています。こうした事業を利用して創業した場合、市では助成金を交付し支援しています。

施策の方向Ⅱ-3 将来を担う人材を惹きつけるしごとの創出

主な施策 ②しごとの魅力を効果的に発信し、若者の地元定着・地元回帰を促します。

学生・社会人の地元回帰を支援

政策企画課

つるおかエール奨学金返済支援事業

令和3年度に県で実施する「やまがた就職促進奨学金返還支援制度」と連携して事業を新設し、若者の地元回帰を促進しています。利用者の約7割が女性。

つるおかエール

令和3年度申請者数	94名	※初年度のため申請多数
令和4年度申請者数	56名	
令和5年度申請者数	51名	

大学等に進学した若者の地元回帰を促進

政策企画課



若者交流促進事業「つるおかミライ会議」

夏休みの帰省に合わせ、本市の地域資源等の魅力への理解を深めるとともに、地域で活躍する先輩や参加者同士の交流を通じて、将来を思い描く機会を提供するイベントを実施。

今年度は鶴岡でフィールドワークを行っている昭和女子大学の学生も参加し、地元出身参加者と視点の共有を図りました。

外からの視点による気づきを加えたことによって、地元愛着や外部への発信力などを高めることができ、これまで以上に高い相乗効果を得ることができました。

開催日 8月8日～8月9日
参加者 23名(内、20名が女性)

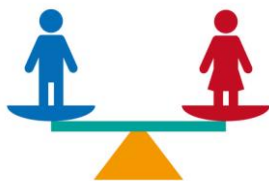
基本方針Ⅲ 誰もが活躍できる地域社会づくり

施策の方向Ⅲ-1 女性の政策・方針の決定過程への参画の促進

主な施策 ①市の審議会等において、構成員の男女比率に配慮するなど適切な運営を行います。

市政への女性の参画

全庁



市の審議会等の女性割合の向上↑

市審議会等の改選期に合わせて、専門的な知識を有する女性の発掘や充て職自体を見直すなど、男女の比率に配慮しています。

※R5.3現在 30.1% (R4.3時点 27.5%)

官民の女性リーダーの育成のための場づくり

輝く女性活躍推進PJ



つるおか小町café

市総合計画「輝く女性活躍推進プロジェクト」において、女性の交流と新たなリーダーの育成を目的とした場づくりを推進しており、今年度は、12月と1月の2回開催予定です。

施策の方向Ⅲ-2 地域活動への多面的な支援

主な施策 ①コミュニティ組織の運営や地域活動の担い手・リーダーの育成を支援します。

若者や女性の活躍の視点を取り入れた地域計画の策定

コミュニティ推進課



地域ビジョンの作成支援

地域の将来像である地域ビジョンの策定にあたっては、アドバイザー職員の派遣や支援員を配置することで、若者や女性を含む住民の参画を働きかけ、計画の策定を支援しています。

※20地区の策定を目標とし、12地区が策定済、11地区が現在策定に向けて取組中です。

基本方針Ⅳ 不安なく家庭生活を営むための環境の整備

施策の方向Ⅳ-1 子育てする人、出産を希望する人への支援の充実

主な施策 ②子育て支援サービスや保育環境のさらなる充実を図ります

国のこども施策との連携強化

政策企画課

6月16日に県内市町村ではいち早く、鶴岡市長が、こども家庭庁が掲げるこどもまんなか応援サポーターに就任しました。今後も、こどもを中心に考え、子育て施策の充実を図ります。

国のこども未来戦略方針に掲げられる男性育休の取得促進等、子育てにおける共育を推進します。

つるおか若者意識調査

政策企画課

こどもの意見を聴取するため、7月に市内の中学校・高校・高専を対象にしたアンケート調査「つるおか若者意識調査」をオンラインで実施しました。

地元定着意識のほか、こどもの居場所や遊び場等、こどもの意見を施策の参考とするため実施しました。

11月13日に市ホームページで結果を公表

つるおかWBCプロジェクト

政策企画課

Wakamono(若者) birth(発想を生み出す) challenge(困難な課題にチャレンジ)

7月に庁内の若手職員による若者・子育て施策立案のプロジェクトチームを立ち上げました。

それぞれの職場で得られた知識と、若者世代の経験や感性を生かし、庁内横断的に政策提言ができるように活動しています。

施策の方向Ⅳ-4 DVの防止と適切な被害者支援の実施

主な施策 ①暴力への認識を深め、予防や適切な行動を促す教育・啓発活動に取り組みます。

荘銀タクトつるおかのライトアップ

荘銀タクト鶴岡



女性に対する暴力をなくす運動(11月12日～11月25日)

運動のシンボルであるパープルリボンにちなみ、この期間は各地で紫色のライトアップを実施しました。

児童虐待防止月間(11月)

運動のシンボルであるオレンジリボンにちなみ、11月1日から10日間オレンジライトアップを実施しました。

図書館における関連図書特設コーナー開設

図書館



女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、市立図書館において特設コーナーで関連書籍を紹介しました。書籍の貸し出しが増えるなど、普段、手に取らない分野への市民の関心を得ることができました。